

## JIS A 1221(スウェーデン式サウンディング試験方法)の改正と

### 性能証明での取り扱いについて

2021.1

一般財団法人 日本建築総合試験所 性能評定課

2020年10月26日付で表題のJISが改正されました。主な変更点と今後の対応についてご案内します。

#### 1. 主な変更点

主な変更点は下記のとおりですが、JISの改正内容は既証明の目標性能に影響を及ぼすものではないと判断しています。

- ・試験名称の変更

スウェーデン式サウンディング試験 ⇒ スクリューウエイト貫入試験

- ・ $W_{sw}$  および  $N_{sw}$  の定義

$W_{sw}$  : 静的貫入最小荷重 (N)、 $N_{sw}$  : 換算半回転数

- ・ $W_{sw}$  の値

50、150、250、500、750、1000N 以外も可

- ・スクリューポイント等の仕様の追加

スクリューポイントの最大径までの長さ、摩耗に対する許容値等

- ・硬質な表層等で事前削孔を可能とする旨を明記

#### 2. 今後の対応

原則として、改正 JIS の内容で資料作成等にご対応ください。なお、 $W_{sw}$  の単位は、従来通り『kN』を用いることを可としますが、 $N_{sw}$  の単位は表記しませんのでご注意ください。

以下に、新規案件と既証明案件による対応の違いをご案内します。

新規案件：上記の内容でご対応

既証明案件：改定および軽微改定の場合は、上記の内容で技術資料および評価書の修正を行い、更新（有効期限の延長のみ）の場合は修正を行わない。ただし、いずれの場合も証明書内の評価内容等の記載については、改正 JIS の表記に合わせて証明書を発行いたします。

以上